

事業概要書

事業名	母子コミュニティの維持・再生、就労サポート事業				
開始日	2020年6月1日	終了日	2020年8月31日	日数	92日
団体名	特定非営利活動法人 ピースジャム				
(カウンターパート)					
担当者名	佐藤 賢	スタッフ人数	6人		

事業費総額 (税込)	925,000 円
CF 事業枠	480,000 円
その他資金	445,000 円

事業目的	<p>東日本大震災以降、ジャム作りやベビーモスリンの販売事業を通して9年かけて築いた母親たちのコミュニティが、コロナ渦の影響を受け今再び分断の危機にあることから、新たな事業（エアーマスク製造、消毒液の代理販売事業）を通じ、母子の子育てコミュニティのサポートと雇用の維持・拡大を行う。また、コロナ終息後にも母親への就労の場を提供できるよう現在計画中の事業をスムーズにスタートするため、事務局体制の強化を行い、コロナ収束後の雇用の維持と拡大につなげる。</p>
事業全体の概要	<p>●NPO 法人ピースジャムとは</p> <p>東日本大震災の2011年3月より母子を対象とした支援活動を開始し、気仙沼市を拠点に三陸沿岸部約2,000世帯へ物資支援、ニーズ調査、ボランティア受入、炊き出し、母子サロン活動を行い、2012年に法人化した団体です。主な活動は2011年より開始した就労支援であり、手作りジャムと縫製品であるベビーモスリンの製造販売を行ってきました。職場は「育児と仕事を支え合う」というコンセプトの下に未就学期の子供を育てる母親が子連れで働けるよう育児環境を整備し、2020年5月には6名の母親が仕事をしており、現在までに56組の親子がピースジャムで共に活動を実施。職場である工房内と工房屋外に併設する、遊び場（ツリーハウス広場と遊具広場）は地域へ一般開放しており、これらの場所を利用して子育てイベントを年15回程度開催してきました。ひとりの子ども、ひとつの家庭を全体で支え合える地域を目指し活動しています。</p> <p>●取り組むべき課題</p> <p>「課題の背景：育児コミュニティの分断と孤独化」</p> <p>新型コロナパンデミックの感染拡大予防として実施されているステイホーム政策により、家庭内に長時間閉じこもった育児と夫が在宅勤務となったことによりさらにワンオペ化（在宅勤務とはいえ家にいるのに家事や育児に全く手を出さない）が進み、物理的/精神的負担が高まることで親・子、双方へのストレスが蓄積しています。通信技術が充実する現在では、他者との関わり方としてオンライン化が進んでおりますが、環境的にSNSやオンラインツールを利用できない親子はデジタル・ディバイド（情報格差）</p>

による孤立も起きており、他者との接点をますます失い孤独な育児環境へと追いやられています。

親子同士や子育てコミュニティの活動基点となっている遊び場では、一般に開放されている現在でも遊ばせ難い雰囲気が消えず（公園で遊んでいたら警察へ通報された、石を投げられた等の出来事があった）、ストレスが慢性的に蓄積されるなか、遊びに行きたくても他者の厳しい目を気にして外出を自粛している家庭もあります。

一方、経済活動の停滞から先行きが見えない家庭が増加し「子育てしながら働きたい」という母親からの問い合わせが、市内外から増えています。

「課題と目的」

東日本大震災以降、ジャム作りやベビーモスリンの販売事業を手掛ける職場を通し、9年かけて築いた母親たちのコミュニティが大きな危機に瀕しています。特にジャム事業は行政の要請を受けたり、自主的に営業自粛をする取引先が増え、販路が失われてしまい継続が難しくなっていました。

子ども連れで働ける場所はすなわち母親たちの交流の場でもありました。しかしながら、新型コロナ禍の影響を受けて職と集う場所を失い、母親たちのコミュニティは今再び分断の危機にあります。

台風や豪雨などの自然災害が増えている現代だからこそ、同じように小さな子どもを抱える母親同士が情報を共有したり互いに知恵を出し合い助け合う場所が必要です。そこでピースジャムはこれまでの活動の経験を活かし、以下の2点を目的とし、活動します。

- ・ 母親たちが子連れて仕事に来られる環境を維持・拡大することでコミュニティの継続をサポートし、かつ、親と子それぞれが抱えるストレスを緩和するため、環境を整備した上でジャム作りに代わる事業（エアマスク製造^{注1}、消毒液の代理販売）を実施します。
- ・ 新型コロナパンデミックが終息したのちもコミュニティを維持する必要があります。そこで、終息後にエアマスクの需要がなくなった後も母親たちが継続的に働けるよう、新規事業^{注2}を計画しています。この新規事業をスムーズに始めるために、運営体制の強化も同時並行で行います。

注1…空気清浄機の製造・販売をする会社より首からぶら下げて使うタイプの小型空気清浄機「ママイオンラピス」というエアマスクの製造を請負っている (<http://mamaion.jp/ion-lps1200/>)。

注2…ジャム事業はもともと収益とコストのバランスが良くなかった（コストに見合った収益ではない）ことや世の中のニーズが震災直後とはだいぶ変わってしまっていた。それに追い打ちをかけるように新型コロナの影響で客足が遠のき販路が失われてしまったため、終了を決断。ジャム事業に代わる新たな事業として、モロッコのアルガンオイルの販売を通じ、多様な子育て層への就労の場の提供、それと同時にモロッコの母親たちの子育て層の課題解決にチャレンジする事業を計画中だったが、コロナの影響で現在アイドリング中。

●パートナー協働プログラム対象事業

(1) 就労環境の改善・寸断されたコミュニティーの再生サポート

母親たちの作業場において3密を避けて作業ができるようにレイアウトを変更し空間を広くとって子育てや作業（エアマスクの製造）をしやすいよう整備をする。整備後は母親の就労希望者から3名～5名の雇用を行う予定。

【期間】 6月1日～8月31日

- ・ 6月中 備品購入、弊団体工房内のコンテナに作業スペースを整備
- ・ 7月1日～8月31日 雇用開始

【対象】 気仙沼市（近隣含む）妊娠期～未就学期の子を持つ親

【雇用期間】 子の未就学期間終了まで

【作業内容】 縫製作業 精密機器製造作業

【職場内感染予防】

- ・ 作業時間内は常に換気状態にする
- ・ 1人の作業スペースは1m20cm以上を確保する
- ・ 親子共に出勤時、勤務時、退勤時に適切な予防法（手洗い、マスクと携帯空気清浄機着用、アルコール、アルカリ次亜水等）を徹底する
- ・ 地域一般の工房内への利用者を8月まで制限する（工房屋外の広場は利用可能）

(2) 子連れで働けるコミュニティーの維持・拡大に向けた事務局体制の強化

事務局員を現在の1名から2名に増やし、事務局と生産現場の安定化及び回転力を上げ、母親のコミュニティーと雇用の維持につなげる。また新型コロナ終息後に予定している新規事業による雇用拡大へ向けた事業の事務局体制の基盤づくりとしても行う。

【期間】 2020年6月～8月

- ・ 6月1日～6月30日 事務局員募集開始。人材が獲得でき次第開始

※NPOの事務経験者やNPO会計ができる人材が好ましいが、6月中に人材が得られなかった場合は、以前よりお世話になっている会計事務所（交渉済み）と連携し開始する。本事業終了後も雇用は継続の予定。

【場所】 ピースジャム事務局（宮城県気仙沼市落合 254-1）

※会計事務所となった場合はオンライン

●期待される効果

【親子】

- ・ 親子が、遊び場／就労／子育てを共有し、親・子双方のストレスが緩和され安心できる居場所が得られる
- ・ 親のストレスの緩和によりDV、ネグレクトのリスクを低減できる
- ・ 妊娠期～出産直後の母親がコミュニティーに参加できる（特に第一子の場合はコミュニティーを持っていないことが多い）

【運営】

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9年をかけて築き上げたコミュニティを分断させず、今後も継続してサポートができる ・ 新型コロナパンデミック終息後に行う新規事業へつながり、新たにシングルマザーや遠隔地の親など、幅広い立場の方の雇用を目指すことができる
事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	
① 就労環境の改善・寸断されたコミュニティの再生サポート	裨益者 (誰が、何人) 就労する親子 5組 (10名以上)
② 子連れで働けるコミュニティの維持・拡大に向けた事務局体制の強化	職場内親子 (17名 × 90日 = 延 1530日)